

第4回はなやかKANSAI 魅カアップアワード～関西インバウンド大賞～

受賞事業概要

近畿経済産業局

関西インバウンド大賞

「ICチップ型救急タグ管理システムによるインバウンド向け救急医療対応」

（(株)モンキャラメル(救急タグ研究会ソルティドッグ幹事会社）：大阪市）

観光客を中心とした外国人の救急搬送者の激増を踏まえ考案された、「救急タグ」による救急搬送や診療の円滑化を図る取組。ICチップ等の「救急タグ」に予め既往歴等を自国語で登録しておき、急病時に救急隊員等が専用アプリにてタグを読み込むと、登録情報が日本語で表示される仕組み。2019年6月のG20大阪サミットにて運用された。今後、大型の国際イベントでの運用や保険会社との協業による診療費未払い問題の解決を目指す。



特別賞（新規性・独創性部門）

「地域の空き家活用、事業者との連携を通じNo Borderなコミュニティ形成を行うSEKAI HOTEL」

（SEKAI HOTEL(株）：大阪市）

地域に点在する空き家をリノベーションして客室として再生利用し、まち全体を大きなホテルと見立てた「SEKAI HOTEL」を運営。大浴場や飲食店、アクティビティ等を周辺の事業者と連携して提供し、周辺地域の回遊を促進させることで「日常」を体験してもらうことがコンセプト。現在、西九条、布施（東大阪市）の2拠点にて展開。



特別賞（事業性・継続性部門）

「コンペイトウの歴史と文化を世界に伝えるコンペイトウミュージアム事業」

（大阪糖菓(株）：大阪府八尾市）

コンペイトウを始めとする砂糖菓子会社の運営する、見て・聞いて・作れる、コンペイトウの体験型ミュージアム。独自のPR活動により徹底した企業ブランディングを展開しており、ミュージアム事業は17年間継続実施。近年では、外国人インターンシップ生やスタッフを積極的に受け入れ、外国人留学生の雇用創出に努めている。



特別賞（社会的効果部門）

「伝統産業インバウンド・海外需要開拓戦略コーディネーターによる海外プロモーション」
（（公財）堺市産業振興センター：堺市）

刃物に代表される堺の伝統的工芸品のインバウンド対応・海外需要拡大に向けた取組。実際に堺で刃物の修行を積んだフランス人をコーディネーターに任命し、SNSでの情報発信（英・仏）や堺伝統産業会館での多言語解説、海外での商談会・講演を行うなど、外国人目線でのプロモーション、受入体制整備を展開している。



特別賞（モデル性部門）

「体験プログラムを活かした外国人個人客へのグリーンツーリズム事業」
（農業法人(株)秋津野：和歌山県田辺市）

地域づくりの延長線上でのコミュニティビジネスの手法により、地域経済を活性化させることを目的とした外国人観光客向け事業。隣接地域や行政、大学、旅行業者、ICT事業者等と幅広く連携し、ミカンや柑橘類等の農作物や郷土料理、熊野古道につながるウォーキングコース等、地域資源を活かした着地型観光プログラムを提供。



特別賞（テーマ特化項目部門）

「『日本の原風景と暮らしを世界に届ける』

地域の郷土愛を育む訪日外国人観光客受け入れ体制整備」
（（一社）南丹市美山観光まちづくり協会：京都府南丹市）

美山町の豊かな自然と伝統的な暮らしの保全と活用に努めてきた組織が中心となった、地域一体でのインバウンド受入体制整備による地域づくり。町内の宿泊・体験の予約窓口の一元化及びキャッシュレス決済の実現のほか、地域内の英語案内ガイド養成講座の実施や訪日教育旅行の受入など、地域住民が中心となった取組を実施。



※写真は事業者提供